

(掲載期間：平成19年3月1日～平成19年4月30日)

## 目次

- ◇平成18年度上越教育大学学位記授与式……1
  - 学長告示
- ◇平成18年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……3
  - 学長告示
- ◇平成19年度上越教育大学大学院入学式……5
  - 学長告示
- ◇平成19年度上越教育大学入学式……7
  - 学長告示
- ◇学事……9
  - 大学院修士課程第2次入学者選抜試験
  - 学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）
  - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式
  - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式
  - 平成18年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修
  - 平成19年度新入生合宿研修
  - 情報セキュリティー講習会
  - 平成19年度新入生図書館利用ガイダンス
  - 平成19年度文献の探し方ガイダンス

- ◇人事……11
  - 人事異動
  - 学内委員会等委員
  - 役員等紹介
- ◇一般通報事項……44
  - 役員会
  - 教育研究評議会
  - 経営協議会
  - 教授会
  - 学位記
  - 退職者永年勤続表彰状授与式
  - 平成18年度個人情報保護に関する講演会
  - ファカルティ・ディベロップメント研修会
  - 教育職員免許取得プログラム受講者の支援
  - 公開講座・免許法認定公開講座
  - 海外渡航
- ◇関係資料……58
  - 平成19年度学校教育学部入学者選抜試験状況
  - 平成19年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況
- ◇主要日誌……61

# 平成 18 年度上越教育大学学位記授与式

平成 18 年度の学位記授与式が 3 月 20 日（火）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学生歌演奏、学位記授与、学長告示、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。学長告示は次のとおりである。

## 学 長 告 示

学長 渡 邊 隆

修了生の皆さん、本日はおめでとうございます。この 2 年間、幾度も困難な壁にぶつかり、その度に新しいアイデアでその壁を克服してきたその成果が本日の栄光です。それらの研究の成果は、皆さんの心の中に深くしみ込み、教育現場に戻られたとき、ゆっくりと、しっかりと皆さんを支えてくれるでしょう。

この間、皆さんを迎える教育界には大きな変化がありました。教育基本法の改定や中央教育審議会の答申によって、教育の改革が行われようとしています。まず、大学の教師教育については、教育課程の質的水準の向上や新しい教職大学院制度の導入が提案されています。また、教員の皆さんには教員免許の更新制度の導入などが提言されています。確かに、難しい状況に教育はおかれています。しかし、この厳しさは、どんな世界も同じではないでしょうか。

教育界に挑戦する私たちに勇気をくれる話が自然に挑戦する人々の話の中に、たくさんあります。ここで一つ紹介したいと思います。

北海道と本州を結ぶ青函トンネルの話です。このトンネルができる前の北海道は、津軽海峡に隔てられ、海が荒れ狂うたびに、物資の供給が滞り、本州との物資運搬の交通網の整備が望まれていました。さらに、昭和 29 年には嵐の中で洞爺丸をはじめ 5 艘が沈み 1430 人も命が失われてしまったのです。この大惨事はあの有名なタイタニック号に続く第 2 の海難事故として記録されています。その時、北海道のために海底トンネルを掘ろうと多くの技術者、職人がこの青函トンネルの工事に名乗りを上げたのです。しかし、その工事は、最初の計画の 10 年を遥かに上回る 24 年にもなる難工事で、34 名の殉職者を出すほどでした。完成された青函トンネルは、全長 53.85km で、完成後 16 年経った今でも世界最長のトンネルなのです。

この仕事が難しかったのは、海底トンネルであったからです。トンネルの頭上 300 メートルには、津軽海峡の海水です。その海水との壁は、多くの断層や破碎帯が含まれるとてももろい地層なのです。海底トンネルの恐怖は、そこからの水漏れです。

実際、1964 年（昭和 39 年）に掘りはじめてから 1985 年（昭和 60 年）の本坑貫通までに 4 回の異常な水もれにみまわれました。その中でも最大のもは、毎分 85 トンというものでした。この水を止めた技術は、世界に誇るべき「止水注入技術」というものでした。水ガラスとセメントを混ぜた「コンクリートミルク」を岩盤に注入する技術です。コンクリートミルクは、その工事現場の地質や、地圧、温度、水の性質などの条件にあわせて、材料が調合されるのです。この技術の提供を、全国のセメント関係者に発注・依頼したのです。新しい技術の開発でそれに応えた会社に糸魚川の青海電化（株）がありました。糸魚川は、上越から西へ 30 キロほどいったところにあります。そこは、フォッサマグナで有名なところで、プレート沈み込み帯に運び込まれた珊瑚礁がつくった石灰岩があり、それを材料にしたセメント会社；青海電化があります。その時活躍したのが青海電化の混材研究所だったのです。その話を直接うかがう機会がありました。

工事現場からの異常出水の知らせを受け、止水コンクリートミルクを緊急に調合する。岩石がどれほど破碎されているのか、どの程度水を含んでいるのかがわからない状態での対応はむづかしい。しかも、その場、その場で異なる状況があ

る。そうした破碎された岩盤に注入されるコンクリートミルクの調整を時間に追われながら一つ一つ対応していく能力、いやその作業を想像すると緊張が走ります。作業現場で新しいコンクリートミルクを待ちながら、トンネルの中で、排水ポンプをまわす人たちの心。一方でその状況を知りながらコンクリートミルクを調整・運搬するのはまさに必死の仕事であったでしょう。これは、現場とそれを支える科学技術そして、その間にある信頼の心の話です。しかも、工事を成功させるために次々と新しい技術が実用化されたものなのです。この実用化という言葉に意味があります。つまり新しい発明や発見ではなく、これまでの技術の結集だったのです。

世の中には、これまでには想像できなかったような出来事が、たくさん起っています。しかし、それらに対処しているのは私たちの仲間であり、その方法は新しい発明や発見ではなくこれまでの技術や知見を結集して対応しているのです。

私たちの携わる教育の世界もこれからどんどん変わっていくでしょう。しかし、今までの英知の結集と発展で、どんな変化にもついていくことができるのではないかと確信致します。私たちはそれをさらに継続させて行かねばなりません。

私たちの携わっている教育という世界は、人が地球に誕生して生活することから端を発しています。人が地の上で生活を始めた古代において、その環境である地球という大地と調和的に生きようとしてきました。その時、生活に必要なものが知恵です。その知恵をうまく次の世代につないでいきたいという気持ちから、教育は生まれてきたのです。私はこの仕事を誇りに思います。今後も、皆さんと大学が連携をとりながら、一緒に日本の教育に寄与していくことを願っております。

最後になりますが、皆さん、大学の正面右側に可愛い女の子のブロンズ像があるのをご存知ですか。上越教育大学名誉教授；峰田敏郎先生の「記念撮影-旅のはじまり・子どもたちと-」という作品です。

さあ、子どもたちに向かっての長い旅がはじまります。時にはまた、エネルギーを補給においでください。雪と人情、そして、お酒のうまい街；上越は、いつでもみなさんを歓迎します。心のふるさとにしていきたい。

自覚と誇りを持ちこれからの教育界を引っ張ってくださることを期待して、みなさんを送る言葉と致します。



# 平成 18 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 18 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 20 日（火）午前 11 時から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告示、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光演奏をもって閉会となった。

学長告示は次のとおりである。

## 学 長 告 示

学長 渡 邊 隆

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。いまから 4 年前、平成 15 年の 4 月、満開の桜のもと、上越教育大学に入学してから 4 年間、学業に専念し、本日見事に、卒業の日を迎えられました。心よりお祝いを申し上げます。皆さんの努力のたまもであります。また、何よりもそれを支え続けてくれた、ご家族をはじめとする多くの方達への感謝を忘れてはなりません。

皆さんはこの 4 月から教育界へ社会人として第一歩を踏みだします。これまでの 4 年間で学んだことを、本当の実社会で実践していく日が始まるのです。教育者の道のりは、とおい。ゆっくりと、しっかりと歩んでほしい。毎日の出来事が皆さんを育ててくれます。

ここ近年「教育」は大きな変化の波が押し寄せています。

社会が変わり、地域が変わり、親、子、家庭、教師、学校が変わってしまったのです。校内暴力、学級崩壊、不登校、いじめなど、新たな教育問題が出てきています。

多くの人々は、教育がダメになったといいますが、それは違います。「ダメになった」のではなく、今までの教育の仕方が、時代にあわなくなってきたのです。現実の社会変化に対応できなくなってしまったのです。

私たちの携わる教育という世界は、目に見えにくい、そして時間のかかる世界です。また今の時代がそれに追いついていくように、結果を急がせませぬ。教育の効果は、ゆっくりしか出て来ませぬ。その結果を期待して、私たちはゆっくりと待たねばなりません。それがつらいところです。

子たちはもっとつらいでしょう。何しろ世の中のことはまだ漠然としかわからないのですから。教師はこれを理解しなくてはならない。

こうした時代にも、日本の成熟した文化は、いろいろの分野で感動を与えてくれ、また教育に向かい合う勇気をくれます。そんな例を一つお話しします。

昨年 2006 年の 8、9、10 月の 3 ヶ月に連続して発行された小説があります。それは、「一瞬の風になれ」という佐藤多佳子による、600 ページをこす大作です。上、中、下の 3 部作でそれぞれ、「イチニツイテ」、「ヨーイ」、「ドン」という見出しがついています。

物語は、高校の陸上部の一部員の話です。

主人公は、神谷新二。高校一年のサッカー部員なのであるが、最近サッカーの才能に限界を感じていた。同級生に一瀬蓮という気になる存在があった。彼は、天才といわれるほどのスプリンターであるにもかかわらず、いまひとつやる気のない様子を見せませぬ。そんな一瀬蓮の魅力に誘われ、陸上部の門を叩く。そして短距離走；リレーの面白さにだんだんと目覚めていきます。がむしゃらに走ることにしかできなかった一年生だった主人公新二が、走ることをとおして、やがて、



インターハイをねらう三年生になるまでの物語を描いたものです。

この物語の中で、インターハイ予選の1600メートルリレーで失敗したとき、神谷新二はこう語りました。

「人生は、世界は、リレーそのものだな。バトンを渡して、人とつながっていける。一人だけではできない。だけど自分が走るその時は、まったく一人きりだ。誰も助けてくれない。助けられない。誰も替わってくれない。替われない。この孤独を俺はもっと見つめなくてはいけない。俺は、俺をもっと見つめないといけない。そこは、言葉のない世界なんだ・・・たぶん。」

この作品をつくる時に、作者は公立高校の陸上部に幾度もインタビューに出かけたそうです。その時、そこにいる生徒のひたむきさとまっすぐさを彼らの中に感じたと述べています。主人公；神谷新二のこの言葉は、作者が、若者の心を読み取った言葉に違いありません。

この話は、私たちの携わる教育界に対して、強烈なメッセージを送っています。この話は高校生ですが、心の動きは小学生も中学生もそして、大人も同じだと思います。また神谷新二が気づいたリレーの世界は、私たちの世界の認識と同一です。このような子どもの心を読み取る、いや、子どもとコラボレーションできる教師が教室にいたら、どんなに楽しいでしょう。

これからの教育は、教師の権威の復活ではなく、子どもたちとのコミュニケーション能力をもった教育者の出現です。その子どもたちとのコミュニケーションの基本は、その教師の人生観に基づきます。その人の子どもの理解の原点がどこにあるかが基本となります。子どもたちもよく見えています。教師の心を見抜きます。本当に楽しんで「教育の場」で子どもと一緒にいるのか、そうでないかを！

一方、教師といえば、「厳しい」、「忙しい」などの大変なことばかりの職業というイメージがあります。私の教育に対する思いは、そんなものとは全く違います。教師は、子どもたちの将来の道しるべであり、旅する若者へのアドバイザー、いやちがう、もっともっと子どもたちに寄り添った将来設計の助言者であってほしいと願っています。

子どもの味方であると同時に、子どもたちの” learning designer”，それが教師です。

「学び」を design する教師は子どもたちにとって、カッコいい存在なのです。そういうカッコよい教師を君たちは目指してほしい。そして、後輩たちへ伝えてほしい。そう願っています。

私たちはいつまでも君たちを Back Up します。

今後の活躍に期待して、卒業生のみなさんを送る言葉と致します。



# 平成 19 年度上越教育大学大学院入学式

平成 19 年度の大学院入学式が 4 月 9 日（月）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉式となった。学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

本日、上越教育大学大学院に入学された 278 名のみなさんを心より歓迎いたします。また教員研修留学生として入学された方にも心より歓迎申し上げます。

上越教育大学大学院は初等教育の実践に関わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員が高度な学習と研究の機会を得て研鑽できるよう、昭和 53 年（1978）に設立されました。創設以来現職教員 3,037 名を含む 4,870 名の修士修了者を教育界に送り出し、日本の教育の資質向上とその改善に大きく寄与して参りました。

今日、ここに入学されてきた皆様はこれから修了までに修士論文を作成し提出することになります。現場からこられた方々は、教育現場の日常の中から多くの課題をみつけていることと思います。こんなことを解決したい、こんな課題に取り組んでみたいと、心がはやっていることでしょう。教育現場で起きている現象の解決は、何を解いたら現象解決になるのでしょうか。修士課程における研究として、その課程をどう解いていくかを指導に当たる先生と相談しながら、それに関する先行研究論文を入手したり、その用いるべき手法の検討などから研究が始まります。

さて、その研究について少しお話したいと思います。私たちは地球というフィールドに生活をしています。地球フィールドでは複雑で興味のある現象が多くあります。

例えば、地球のかたち、重さ、大きさはいくらでしょうといえ、皆さんは知っているし、どう調べたらその答えが求められるかの方法を知っています。私たちの地球は一番外側を「地殻」というもので囲われていますが、たとえば化学組成はと問われれば、どう答えますか。その化学組成はクラーク数として知られていますが、その数値が如何にして求められたかについては、あまり考えてみるチャンスはなかったのではないかと思います。どんなふうにしてこのクラーク数は現在のように決定されたのでしょうか。

地殻の化学組成の追求の旅は、Clarke と Washington（クラークとワシントン）によって 1924 年に始まりました。まず、地殻の平均組成は火成岩の平均組成に等しいと考えました。なぜならば堆積岩と変成岩の総量は、火成岩の総量に比べれば小さいからです。また実際に堆積岩と変成岩の平均組成は大きな差がないのです。

そして火成岩の平均組成を計算するために利用できるデータについて徹底的に検討しました。その結果、Washington は 5159 個のそれまで求められた化学分析結果表を作り上げたのです。

その結果を地理的に分類してみると、それぞれの地域の化学分析値の平均値はかなりよく一致していたという結果が得られました。

また、5159 個の分析例・全体の平均を計算すると、ふつうの火成岩のどれにも一致しないが、花崗岩と玄武岩の中間に位置することがわかったのです。この花崗岩と玄武岩は全火成岩のほとんどを占める岩石に他ならないのです。

この分析値の平均によって火成岩の平均値を求めようとする方法に対しては、多くの反対意見が出されました。

例えば、①分析値の例が地理的に偏っている。

②岩石種が統計的に正当に分布していない。

③ 1 個の分析例が代表する各種岩石の実際の量が考慮されていない。などです。

このクラークとワシントンの数値をゴールドシュミット（Goldschmidt）は非常に興味を持ち、これらの批判に対するより深い検証を試みました。

例えば、南部ノルウェーに広く分布する氷河粘土は、近くを削り取って氷床から溶け出してきた水によって運ばれ、堆積した非常に細かな岩石粉末なのです。実際、この77個の試料の平均は、クラークとワシントンの値ととてもよく一致していました。

そののちも、数々の検証を受けながら、現在のクラーク数と言われる分析表がつくられているわけです。

このクラーク数で注目される興味深い点は、8種の元素／O, Si, Fe, Ca, Na, K, Mg／が全体の%を占めるということです。さらに酸素(O)は体積比で、約94%を占めるという特徴ある結果だったのです。

このように地球の化学組成を求める旅は、クラークとワシントンによって5159個の岩石の分析結果からはじめられ、そののち具体的な地球科学の諸々の現象からの吟味を通じて現在に至っているというものです。この旅は、私たちの周りにある空気の主成分である酸素が、地殻という固体層の中でも主成分であるという新たな事実の発見にもつながったのです。

一つの数値表も、その結果が出るまでに多くの科学的吟味を必要とします。クラークとワシントンののはじめの提案があればこそ、そして地殻の組成を求めたいというモチベーションがあればこそ、多くの研究者がその方向に向き、力が集中したのです。また、科学的批判を受け入れ、それを吟味していく中でさらに新たな事象がうまれてくるのです。

教育の研究も同様なことがいえます。皆さんがこれから2カ年で一つの修士論文を作る旅立ちが、今日ここからはじまります。

大きくて、複雑な課題への取り組み、これは私たちの直面している教育の課題です。現代の教育現場では、これまで確立されてきた教育学を含む諸科学では、対応できない課題や現象が出現してきています。その挑戦は、データ探しからはじまります。まずは、自分で探してください。その探し当てたデータにこそ研究の本質が含まれています。

皆さんの修士における研究は、教育現場の知見からの既存諸科学への挑戦です。その挑戦が、現代の実践的教育学への道を開くのです。

**あらゆる学問領域から「教育」に関するアイデア、方針、基本概念、哲学的な概念などを探しだすことです。**

より基本的で、本質的な課題は何かを探っていただき、それに関する研究に挑戦していただきたい。この上越教育大学大学院に、「教育」の課題に挑戦しようと集まってきた仲間とぜひ、それぞれの得意分野からそのなぞ解きをやって欲しいのです。

これからも、上越教育大学は学校教育のあらゆる課題を持ち込んで研究できる場所として、発展していきます。この歴史を継続させ、持続させるためにも皆さんの参加が必要です。私たちの国立大学法人上越教育大学は皆さんを歓迎し、活躍を期待して告辞いたします。



# 平成 19 年度上越教育大学学部入学式

平成 19 年度の学部入学式が 4 月 9 日（月）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉式となった。学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

ただいま、上越教育大学に入学された 168 名のみなさん、入学おめでとう。みなさんの入学を心から歓迎いたします。また、ご列席のご家族のみなさんは、お子様の大学生としての晴れ姿に大きな喜びを感じておられることでしょう。おめでとうございます。

上越教育大学は、昭和 53 年（1978）に新しい理念に基づいて社会が求める教員を養成するために設立され、多くの優秀な教員を育ててきました。創立して 29 年という歴史ですが、教員養成の大学として日本のトップクラスにまで成長してきました。現在は、学校教育の学部と大学院修士および博士課程を持っている数少ない大学です。

本学は、教育に関する科学を学び近い将来は、教育の専門家として、社会に貢献できる人材を育てることを目的としてつくられた大学です。今日、皆さんは、将来は「教育」に関する分野で活躍するという目標の実現のため第一歩を踏み出したのです。「教育」を学ぶということが「世界平和への貢献」に繋がるということを認識できるような人間に成長されることを皆さんに期待いたしております。

ここで、一人の日本の技術者のお話をします。江戸時代から明治時代にかけて「東洋のエジソン」「からくり儀右衛門」と呼ばれ活躍した発明家；田中久重の話です。

田中久重は、筑後の久留米でべっこう細工師の長男として生まれました。幼い時分よりからくり仕掛けに興味を抱いて、いくつもの作品を作り上げては皆に披露していました。その評判は高く、近所からは「からくり儀右衛門」と呼ばれていたといいます。からくり人形のとりことなった田中久重は、家業のべっこう細工を弟に任せ、25 歳にして技術修行のため筑後を去り、諸国を訪ねながら、西洋渡来の技術知識を吸収しました。そして京都に至ると、まもなく「機巧堂」を開店し、からくり細工の製造・販売を営みました。「無尽灯」「雲竜水」「懐中燭台」といった意匠の数々はたちまち評判になりました。中でも 1851 年に制作された「万年時計」は、和時計の最高傑作ならびに江戸時代の技術の精華として名高いものです。現在、国立科学博物館に保存されています。

1853 年（嘉永 6 年）、ペリーが来航した年には、佐賀藩に「精煉方」として仕官していました。蒸気船や蒸気機関車、あるいは電信機のモデルを製作するなど、最先端技術に基づく数々の製品の制作に携わりました。

75 歳の時、田中久重は政府の要請を受けて東京に移り、銀座に電信機などのメーカーとして「田中製作所」を開きました。これが、現在の東芝の前身となりました。電信機や時報機などの機器を次々と開発し、日本のエレクトロニクス分野に光明を開きました。高い志を持ち、創造のためには自らに妥協を許さなかった久重はつぎのような言葉を残しています。

「知識は失敗より学ぶ。

事を成就するには、



志があり、  
忍耐があり、  
勇気があり、  
失敗があり、  
その後に、成就があるのである」

田中久重の言葉は、教育に携わる私たちにとって大きな指針を与えてくれるものです。学ぶということは、「失敗」というとてつもない実践のプロセスが伴うものであることを教えてくれます。

これから携わる「教育」という仕事は、天然資源のない日本にとっては、貴重な仕事ですが、地味な仕事です。大きなお金が動くわけではないし、どちらかというと地味な仕事です。一生懸命努力してやった教育活動であっても、すぐ結果を表すということとはごくまれです。時には何十年かかることもあります。しかし、わたし達の教育に対する努力は必ずや日本の社会の基盤を支えるものであることは確かです。社会のインフラを支える貴重な仕事です。その教育に注目し、人生を賭けてみようと本学に、入学された皆さんはわたしたちの仲間でもあります。これから長い時間をかけて、日本の社会基盤を支える大きな仕事を一緒にやっていきましょう。

さて、みなさんはこれから人生で一番素晴らしい青春時代をこの上越の地で過ごします。

みなさんが入学した上越教育大学は、北には、日本海、西から南にかけて、妙高山を初めとする山々が連なり、東には頸城平野と四季の変化が美しい自然に囲まれています。また、大学の裏手の春日山はその昔、戦国の武将、上杉謙信がお城を構えたところでした。上越市はこのような、自然が美しく、歴史の重みがあり、教育・文化を重視する人間味豊かな土地柄です。地域の人々との交流を深め地域の文化に接することで一層豊かな学生生活を送ることができます。

みなさんが上越教育大学の学生として自覚と誇りを持ち充実した学生生活を送られることを期待して、新入生のみなさんを迎える言葉と致します。





# 学 事

## ○大学院修士課程第2次入学者選抜試験

平成19年度大学院学校教育研究科修士課程第2次入学者選抜試験を次のとおり実施した。

募集人員45人に対し、応募者7人、合格者5人であった。

入学願書受付 平成19年2月14日（水）～2月19日（月）

入学者選抜試験 平成19年3月7日（水）

合格者発表 平成19年3月13日（火）

## ○学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）

平成19年度学校教育学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し、応募者365人、合格者58人であった。

入学願書受付 平成19年1月29日（月）～2月6日（火）

入学者選抜試験 個別学力検査等は課さない

合格者発表 平成19年3月23日（金）

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成18年度学位記授与式が平成19年3月27日（火）に兵庫教育大学において行われた。

なお、修了者11人のうち、本学の配属学生は2人である。

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成19年度入学式が平成19年4月13日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお、入学者30人のうち、本学の配属学生は9人である。

## ○平成18年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

本学と課外活動団体のリーダーが、その任務を深く認識し、意見交換を通して、リーダーとしての基本的知識の修得を図るとともに、課外活動団体相互の親睦と理解に基づき、課外活動の発展向上を目的として実施した。

期 日 平成19年3月8日（木）・9日（金）  
（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 学 生 39団体86人

教職員 11人



### ○平成19年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日 平成19年4月27日（金）・28日（土）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 1年次学生 167人

教職員 29人



### ○情報セキュリティー講習会

本年度の学部及び大学院（修士課程）の新入生を対象として、本学における情報セキュリティー対策、情報セキュリティーポリシーの必要性及び情報セキュリティーを確保することの重要性等について指導するため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 平成19年4月11日（水）

場 所 講 堂

講習内容 「情報基盤センターからみなさんへの期待」

情報基盤センター長 南部 昌敏

「情報セキュリティー入門」

情報基盤センター 准教授 大森 康正

参加人員 学部学生 166人, 大学院学生 240人

### ○平成19年度新入生図書館利用ガイダンス

新入生に、図書館内の案内及び図書自動貸出装置・蔵書検索の利用方法を説明した。

期 日 4月11日（水） 4回各30分 12・13日 各1回30分 18日 2回各30分

参加人数 合計 117人

### ○平成19年度文献の探し方ガイダンス

マルチメディアコーナーのパソコンを利用して、蔵書検索（OPAC, Webcat）・雑誌記事索引・ERIC, PsycI NFOの実習及び文献複写依頼・図書の借受方法、各種冊子体・電子ジャーナルの使い方を指導した。

期 日 4月16日（月）～20日（金） 各日13:00～13:50, 15:00～15:50

参加人数 合計 56人

# 人 事

## ○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H19. 4. 1	役 員 任 命 任 命 任 命 任 命	学長 理事 理事 理事	渡 邊 隆	学長
			高 田 喜久司	理事
			新 宅 鉄 衛	理事
			加 藤 章	理事
H19. 4. 1	部局長等 兼 務 任用更新 任用更新 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命	副学長	高 田 喜久司	理事
		副学長	戸 北 凱 惟	副学長
		副学長	川 崎 直 哉	副学長
		経営協議会委員	渡 邊 隆	学長
		経営協議会委員	高 田 喜久司	理事
		経営協議会委員	新 宅 鉄 衛	理事
		経営協議会委員	戸 北 凱 惟	副学長
		経営協議会委員	川 崎 直 哉	副学長
		教育研究評議会評議員	渡 邊 隆	学長
		教育研究評議会評議員	高 田 喜久司	理事
		教育研究評議会評議員	戸 北 凱 惟	副学長
		教育研究評議会評議員	川 崎 直 哉	副学長
		教育研究評議会評議員	若 井 彌 一	教授（生徒指導総合講座）
		教育研究評議会評議員	朝 倉 啓 爾	教授（学習臨床講座）
		教育研究評議会評議員	西 穰 司	教授（生徒指導総合講座）
		教育研究評議会評議員	野 村 眞木夫	教授（言語系教育講座国語分野）
教育研究評議会評議員	立屋敷 かおる	教授（生活・健康系教育講座学校ヘルスケア分野）		

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	任 命	教育研究評議会評議員	西 村 俊 夫	教授（芸術系教育講座美術分野）
	任 命	教育研究評議会評議員	佐 藤 芳 徳	教授（社会系教育講座）
	任 命	教育研究評議会評議員	加 藤 泰 樹	教授（生活・健康系教育講座保健体育分野）
	任 命	教育研究評議会評議員	新 宅 鉄 衛	事務局長
	任 命	教育研究評議会評議員	稲 葉 幸 夫	総務部長
	任 命	教育研究評議会評議員	東 和 憲	学務部長
	兼 務	附属図書館長	若 井 彌 一	教授（生徒指導総合講座）
	兼 務	学校教育総合研究センター長	加 藤 泰 樹	教授（生活・健康系教育講座保健体育分野）
	兼 務	保健管理センター所長	上 野 光 博	教授（保健管理センター）
	兼 務	情報基盤センター長	南 部 昌 敏	教授（学校教育総合研究センター）
	兼 務	心理教育相談室長	南 加 藤 哲 文	教授（心理臨床講座）
	兼 務	実技教育研究指導センター長	市 川 真 澄	教授（実技教育研究指導センター）
	兼 務	特別支援教育実践研究センター長	土 谷 良 巳	教授（特別支援教育実践研究センター）
	兼 務	附属小学校長	佐 藤 芳 徳	教授（社会系教育講座）
	兼 務	附属中学校長	下 西 善 三 郎	教授（言語系教育講座国語分野）
	兼 務	附属幼稚園長	後 藤 丹	教授（芸術系教育講座音楽分野）
	兼 務	第一部部主事	朝 倉 啓 爾	教授（学習臨床講座）
	兼 務	第二部部主事	西 穰 司	教授（生徒指導総合講座）
	兼 務	第三部部主事	野 村 眞 木 夫	教授（言語系教育講座国語分野）
	兼 務	第四部部主事	立 屋 敷 かおる	教授（生活・健康系教育講座学校ヘルスケア分野）
	兼 務	第五部部主事	西 村 俊 夫	教授（芸術系教育講座美術分野）
	兼 務	広報室長	戸 北 凱 惟	副学長
H19. 4. 1	学長特別補佐 任用更新 採 用 任用更新	学長特別補佐（評価担当） 学長特別補佐（戦略担当） 学長特別補佐（国際交流担当）	田 中 敏 水 原 健 二 臼 杵 美由紀	学長特別補佐 学長特別補佐
H19. 4. 1	特別顧問 委 嘱 委 嘱	特別顧問（免P支援担当） 特別顧問（カリキュラム支援、免P支援担当）	青 木 眞 濁 川 明 男	





発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H19. 3. 31	採用 採用	附属中学校教諭 附属幼稚園教諭	阿 部 洋 子 高 木 恵美子	上越市立直江津中学校教諭 妙高市立妙高高原北小学校教諭
	事務系職員 定年退職 定年退職		本 橋 文次郎 笹 川 和 博	学務部学術情報課長 学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）
	辞 職		宮 越 節 子	総務部附属学校事務室附属学校チーム主査（主に附属学校担当）
	辞 職	国立大学法人新潟大学人文社会・教育科学系 総務課副課長（附属学校担当）	池 津 善 明	総務部財務課副課長（財務分析担当）
	辞 職	国立大学法人新潟大学財務部財務企画課企画 調整係長	八百板 正 樹	総務部財務課契約チーム主査（主に契約担当）
H19. 4. 1	辞 職	国立大学法人新潟大学施設管理部施設整備課 整備計画係長	深 澤 良 昭	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設担当）
	在籍出向	国立大学法人新潟大学自然科学系学務課副課 長	石 田 芳 邦	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構	秋 山 洋	総務部総務課総務チーム主任
	在籍出向	国立妙高青少年自然の家事業支援課管理係長	木 村 康 司	学務部教育支援課教務支援チーム
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構	岡 本 世 紀	学務部教育支援課教務支援チーム
	在籍出向	国立妙高青少年自然の家事業支援課管理係 独立行政法人大学評価・学位授与機構 評価事業部評価第1課認証評価第1係 事務局長	新 宅 鉄 衛 室 橋 眞	理事 国立大学法人富山大学附属図書館情報サービ ス課長
	兼 務 採用	学務部学術情報課長	後 藤 公 夫 西 條 江美子	総務部総務課副課長（広報担当） 学務部教育支援課副課長（教育改革・GP支 援担当）
	配 置 換 配 置 換	学務部研究連携室長 学務部就職支援室長	守 屋 仁 東 條 俊 明 岡 崎 明 弘	学務部就職支援室長 総務部総務課副課長（労務管理担当） 総務部企画室企画・評価チーム主査（主に評 価担当）
	配 置 換 担 当 免 配 置 換	広報室室長補佐 総務部総務課副課長 総務部総務課総務チーム主査（主に法規担 当）	安 田 大 信 今 村 大 悟 中 島 忍	総務部施設マネジメント課施設チーム主任 総務部財務課契約チーム 国立大学法人新潟大学人文社会・教育科学系 学務課副課長
	配 置 換 研修出向 復 帰	総務部総務課総務チーム主任 文部科学省高等教育局専門教育課 総務部企画室室長補佐		

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	担当命免	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に評価担当）	齊 藤 昭 文	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情報担当）
	昇 任	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に情報担当）	藍 木 順 二	総務部企画室企画・評価チーム主任
	復 帰	総務部企画室企画・評価チーム主任	後 藤 涉	独立行政法人大学評価・学位授与機構評価事業部評価第3課法人評価第1係主任
	配 置 換	総務部附属学校事務室附属学校チーム主査（主に附属学校担当）	新 保 幸 江	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に学生相談担当）
	復 帰	総務部財務課経理チーム主査（主に経理担当）	池 田 彰	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課管理係長
	担当命免	総務部財務課契約チーム主査（主に契約担当）	宮 路 真 一	総務部財務課経理チーム主査（主に経理担当）
	採 用 担 当 免	総務部財務課契約チーム 総務部施設マネジメント課副課長	赤 井 一 繁 内 藤 哲 男	総務部施設マネジメント課副課長（施設有効活用担当）
	採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に固定資産管理担当）	服 部 正 人	国立大学法人新潟大学財務部契約課主任
	採 用	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設担当）	五十嵐 淳	独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校会計課施設係施設主任
	採 用	学務部教育支援課副課長（教育企画・GP支援担当）	中 川 則 之	国立大学法人新潟大学学生部学生支援課学生係長
	担当命免	学務部教育支援課副課長（教育課程担当）	細 谷 敏 明	学務部教育支援課副課長（免P支援担当）
	配 置 換	学務部教育支援課副課長（教職大学院担当）	田 中 芳 一	学務部研究連携室長
	配 置 換	学務部教育支援課教務企画チーム主査（主にGP支援担当）	飯 塚 章次郎	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）
	復 帰	学務部教育支援課教務支援チーム	堀 慎太郎	文部科学省高等教育局専門教育課
	配 置 換	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）	池 田 健 助	総務部総務課総務チーム主査（主に法規担当）
	再 雇 用	学務部学生支援課学生支援チーム	笹 川 和 博	
	復 帰	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）	山 口 信 幸	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課総務係長
	兼 務	広報室	山 口 信 幸	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
H19. 4. 30	辞 職		守 屋 仁	広報室室長補佐
	<b>事務補佐員</b>			
H19. 3. 1	採 用	総務部総務課総務チーム	宮 本 憲 子	
H19. 3. 31	退 職	（平成19年3月30日限り）	清 水 舞	総務部総務課総務チーム

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H19. 4. 2	採 用	学務部教育支援課教務企画チーム	大 島 彩 夏	
H19. 3. 31	免P相談員 退 職	(平成19年3月30日限り)	鈴 木 正 之	学務部教育支援課教務支援チーム
H19. 4. 2	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	萬 羽 嗣 彦	
H19. 4. 2	心理教育相談補 佐員 採 用	心理教育相談室	草 野 孝	
H19. 3. 24	臨時用務員 退 職	(平成19年3月23日限り)	樋 口 希和子	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員 総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員 総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員
H19. 3. 28	退 職	(平成19年3月27日限り)	木 澤 玲 子	
H19. 4. 5	退 職	(平成19年3月27日限り)	朝 日 清 美	
	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	岡 田 朋 美	
	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	寺 沢 美 幸	
H19. 3. 31	特別支援教育事 業推進コーデ ィネーター 退 職	(平成19年3月30日限り)	高 橋 奈津子	障害児教育実践センター
H19. 4. 1	採 用	特別支援教育実践研究センター	伊 藤 勇 夫	
H19. 4. 2	免P支援コー ィネーター 採 用	学務部教育支援課教務支援チーム	碓 井 欣 一	

[備考]

- 平成19年4月1日から、学校教育学部所属の大学教員は大学院学校教育研究科所属に、障害児教育実践センター所属の大学教員は特別支援教育実践研究センター所属となったが、昇任、採用者を除き省略した。
- 平成19年4月1日から、大学教員の職名について、助教授から准教授へ変更となったが、昇任、採用者を除き省略した。

## ○学内委員会等委員

教育研究評議会に置かれる委員会

### 大学改革委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
高田喜久司	理事	---		委員長
新宅 鉄衛	理事	---		
西 穰司	教授	---	18.4.1~20.3.31	
赤羽 孝之	教授	---	18.2.8~20.3.31	
室谷 利夫	教授	---	18.4.1~20.3.31	
後藤 丹	教授	---	18.2.8~20.3.31	
小林 辰至	教授	---	18.2.8~20.3.31	
西川 純	教授	---	18.2.8~20.3.31	
若井 彌一	教授	---	18.11.8~20.11.7	
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		

以上11名

教育研究評議会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 泰樹	学校教育総合研究センター長	---		
増井 三夫	学習臨床講座 講座代表	---		
荻原 克男	生徒指導総合講座 講座代表	---		
内田 一成	心理臨床講座 講座代表	---		
丸山 良平	幼児教育講座 講座代表	---		
齋藤 一雄	特別支援教育講座 講座代表	---		
加藤 雅啓	言語系教育講座 講座代表	---		
鈴木 敏紀	社会系教育講座 講座代表	---		
小林 辰至	自然系教育講座 講座代表	---		
池田 操	芸術系教育講座 講座代表	---		
伊藤 政展	生活・健康系教育講座 講座代表	---		
溝上 武實	連合研究科副研究科長	---		
霜越 隆晴	財務課長	---		

以上14名



教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
川崎 直哉	副学長	---		
若井 彌一	附属図書館長	---		
加藤 泰樹	学校教育総合研究センター長	---		
南部 昌敏	情報基盤センター長	---		
朝倉 啓爾	第一部 部主事	---		
西 穰司	第二部 部主事	---		
野村眞木夫	第三部 部主事	---		
立屋敷かおる	第四部 部主事	---		
西村 俊夫	第五部 部主事	---		
増井 三夫	学習臨床講座 講座代表	---		
荻原 克男	生徒指導総合講座 講座代表	---		
内田 一成	心理臨床講座 講座代表	---		
丸山 良平	幼児教育講座 講座代表	---		
齋藤 一雄	特別支援教育講座 講座代表	---		
加藤 雅啓	言語系教育講座 講座代表	---		
鈴木 敏紀	社会系教育講座 講座代表	---		
小林 辰至	自然系教育講座 講座代表	---		
池田 操	芸術系教育講座 講座代表	---		
伊藤 政展	生活・健康系教育講座 講座代表	---		
東 和憲	学務部長	---		

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

教員養成カリキュラム委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
釜田 聡	准教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第一部)
布川 和彦	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第一部)
丸山 良平	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第一部)
齋藤 一雄	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第二部)
林 泰成	教授	---	18. 12. 7～20. 3. 31	(第二部)
中山勘次郎	准教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第二部)
佐藤 芳徳	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第三部)
押木 秀樹	准教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第三部)
小林 辰至	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第四部)
直原 幹	教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第四部)
阿部 靖子	准教授	---	18. 3. 15～20. 3. 31	(第五部)
西條江美子	学長指名	就職支援室 長	18. 3. 15～20. 3. 31	
松沢 要一	学長指名	准教授	19. 4. 11～20. 3. 31	(第一部)

以上14名

教育研究評議会に置かれる委員会

教務委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
布川 和彦	第一部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
杉浦 英樹	第一部	講師	19. 4. 1～21. 3. 31	
林 泰成	第二部	教授	18. 12. 7～20. 3. 31	
角田 京子	第二部	准教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
藤井 和子	第二部	講師	19. 4. 1～21. 3. 31	
赤羽 孝之	第三部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
渡部洋一郎	第三部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
大場 浩正	第三部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
市川 真澄	第四部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
得丸 定子	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
定本 嘉郎	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
佐光 恵子	第四部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
高橋 等	第四部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
東原 貴志	第四部	准教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
茂手木潔子	第五部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
高石 次郎	第五部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
東 和憲	学務部長	---		
東 博信	教育支援課長	---		

以上19名



教育研究評議会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
北條 礼子	第一部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
木村 吉彦	第一部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
内藤 美加	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
藤田 武志	第二部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
丸山 昭生	第二部	講師	18. 4. 1～20. 3. 31	
中里 理子	第三部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
松田 慎也	第三部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
小林 辰至	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	委員長
庭野 義英	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
洞谷亜里佐	第五部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
釜田 聡	学校教育総合研究センター	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
松沢 要一	学校教育総合研究センター	准教授	19. 4. 1～20. 3. 31	(任期付)
浅野 秀之	学校教育総合研究センター	准教授	19. 4. 1～20. 3. 31	(任期付)
古閑 晶子	学校教育総合研究センター	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	(任期付)
歌川 孝	附属小学校教頭	---		
廣川 正文	附属中学校教頭	---		
西澤可江子	附属幼稚園教頭	---		
東 和憲	学務部長	---		
東 博信	教育支援課長	---		
久保田善彦	学長指名	准教授	19. 4. 11～21. 3. 31	
松本 修	学長指名	准教授	19. 4. 11～21. 3. 31	

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

学生委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
大山美和子	第一部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
久保田善彦	第一部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
若井 彌一	第二部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
笠原 芳隆	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
越 良子	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
前川 利広	第三部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
押木 秀樹	第三部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
志村 喬	第三部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
増井 晃	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
室谷 利夫	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
岡崎 正和	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
藤木 一浩	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
黎 子椰	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
清水 富弘	第四部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
西村 俊夫	第五部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
上野 正人	第五部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
東 和憲	学務部長	---		
草間 忠明	学生支援課長	---		
川村 知行	学長指名	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	委員長 (第一部)
加藤 雅啓	学長指名	教授	19. 4. 11～21. 3. 31	(第三部)

以上21名



教育研究評議会に置かれる委員会

就職委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
大山美和子	第一部	教授	19.4.1~21.3.31	
角谷 詩織	第一部	准教授	18.4.1~20.3.31	
大庭 重治	第二部	教授	19.4.1~21.3.31	
阿部 勲	第二部	准教授	18.4.1~20.3.31	
三村 隆男	第二部	准教授	18.4.1~20.3.31	
平野 絹枝	第三部	教授	19.4.1~21.3.31	
高本 條治	第三部	准教授	18.4.1~20.3.31	
下里 俊行	第三部	准教授	19.4.1~21.3.31	
森川 鐵朗	第四部	教授	18.4.1~20.3.31	
下村 義夫	第四部	教授	19.4.1~21.3.31	
中川 仁	第四部	教授	19.4.1~21.3.31	
清水 富弘	第四部	准教授	18.4.1~20.3.31	
細江 容子	第四部	准教授	18.4.1~20.3.31	
大森 康正	第四部	准教授	19.4.1~21.3.31	
山本 茂夫	第五部	教授	18.4.1~20.3.31	
高石 次郎	第五部	准教授	19.4.1~21.3.31	
東 和憲	学務部長	---		
西條江美子	就職支援室長	---		
藤岡 達也	学長指名	教授	19.4.1~21.3.31	委員長 (第一部)

以上19名

教育研究評議会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
高田喜久司	副学長	---		委員長
丸山 良平	第一部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
松本 健義	第一部	准教授	19. 4. 11～20. 3. 31	
荻原 克男	第二部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
齋藤 一雄	第二部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
藤生 英行	第二部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
山本 友和	第三部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
野地 美幸	第三部	講師	19. 4. 1～21. 3. 31	
迎 勝彦	第三部	講師	19. 4. 1～21. 3. 31	
立屋敷かおる	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
大場 孝信	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
谷川 智幸	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
光永伸一郎	第四部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
黎 子椰	第四部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
大橋奈希左	第四部	講師	19. 4. 1～21. 3. 31	
山本 茂夫	第五部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
洞谷亜里佐	第五部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
川崎 直哉	教務委員会委員長	---		
戸北 凱惟	国際交流推進室長	---		
東 和憲	学務部長	---		
田上 隆	入試課長	---		
南部 昌敏	学長指名	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	(第一部)

以上23名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
高田喜久司	理事	---		委員長
朝倉 啓爾	第一部 部主事	---		
西 穰司	第二部 部主事	---		
野村眞木夫	第三部 部主事	---		
立屋敷かおる	第四部 部主事	---		
西村 俊夫	第五部 部主事	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
下西善三郎	附属中学校長	---	19. 4. 1～21. 3. 31	
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		

以上10名



法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 泰樹	学校教育総合研究センター長	---		
小林 恵	第一部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
大前 敦巳	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
石濱 博之	第三部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
直原 幹	第四部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
阿部 靖子	第五部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
後藤 丹	附属幼稚園長	---	19. 4. 1～21. 3. 31	
新宅 鉄衛	事務局長	---		
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		
田中 敏	学長指名	学長特別補佐	19. 4. 1～21. 3. 31	
西 穰司	学長指名	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
西村 俊夫	学長指名	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
野村眞木夫	学長指名	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	

以上15名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
松本 修	第一部	准教授	18.4.1~20.3.31	
藤井 和子	第二部	講師	18.4.1~20.3.31	
浅倉 有子	第三部	准教授	18.4.1~20.3.31	
増井 晃	第四部	教授	19.4.1~20.3.31	
酒井 創	第五部	准教授	18.4.1~20.3.31	
井上 久祥	学校教育総合研究センター	准教授	18.4.1~20.3.31	
高野 浩志	情報基盤センター	講師	18.4.1~20.3.31	
西澤 可江子	附属幼稚園教頭	---	19.4.1~21.3.31	
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		

以上11名



法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
鈴木 情一	第一部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
五百川 裕	第一部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
西 穰司	第二部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	委員長
藤井 和子	第二部	講師	18. 4. 1～20. 3. 31	
藤澤 郁夫	第三部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
大場 浩正	第三部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
高津戸 秀	第四部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
土田 了輔	第四部	准教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
福岡 奉彦	第五部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
峯岸 創	第五部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
下西善三郎	附属中学校長	---	19. 4. 1～21. 3. 31	
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		

以上13名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
若井 彌一	人文・社会科学分野	教授	19.4.1～20.3.31	
角田 京子	人文・社会科学分野	准教授	19.4.1～20.3.31	
下村 義夫	自然科学分野	教授	19.4.1～20.3.31	
光永伸一郎	自然科学分野	准教授	19.4.1～20.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	19.4.1～20.3.31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	19.4.1～20.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	19.4.1～20.3.31	

以上8名

法人に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
高田喜久司	副学長	---		委員長
戸北 凱惟	学術研究委員会委員長	---		
中野 靖夫	第一部	教授	19.4.1~20.3.31	
我妻 敏博	第二部	教授	19.4.1~21.3.31	
藤澤 郁夫	第三部	教授	19.4.1~21.3.31	
滝山 桂子	第四部	教授	19.4.1~20.3.31	
峯岸 創	第五部	教授	19.4.1~21.3.31	
高橋 幸知	学外有識者	---	19.4.1~21.3.31	

以上8名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
朝倉 啓爾	第一部 部主事	---		
野村眞木夫	第三部 部主事	---		
佐藤 芳徳	附属小学校長	---		
下西善三郎	附属中学校長	---		
後藤 丹	附属幼稚園長	---		
歌川 孝	附属小学校教頭	---		
廣川 正文	附属中学校教頭	---		
西澤可江子	附属幼稚園教頭	---		
新宅 鉄衛	事務局長	---		

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
若井 彌一	附属図書館長	---		委員長
川村 知行	第一部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
内藤 美加	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
大嶽 幸彦	第三部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
増井 晃	第四部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
時得 紀子	第五部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
室橋 眞	学術情報課長	---		

以上7名



附属施設等に置かれる委員会

学校教育総合研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
加藤 泰樹	学校教育総合研究センター長	---		委員長
釜田 聡	学校教育総合研究センター教育実践研究部門	准教授	19.4.1～20.3.31	
南部 昌敏	学校教育総合研究センター教育開発研究部門	教授	18.4.1～20.3.31	
西川 純	第一部	教授	19.4.1～21.3.31	
越 良子	第二部	准教授	18.4.1～20.3.31	
有澤俊太郎	第三部	教授	19.4.1～21.3.31	
小川 茂	第四部	准教授	18.4.1～20.3.31	
太田 将勝	第五部	教授	19.4.1～20.3.31	
廣川 正文	附属中学校教頭	---	19.4.1～21.3.31	
東 和憲	学務部長	---		

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター配置教員	教授		
川村 知行	学生委員会委員長	---		
中野 靖夫	第一部	教授	19. 4. 1～20. 3. 31	
大前 敦巳	第二部	准教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
平野 七濤	第三部	教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
佐藤 悦子	第四部	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
平野 俊介	第五部	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
稲葉 幸夫	総務部長	---		
東 和憲	学務部長	---		
五十嵐透子	学長指名	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	(第二部)

以上11名

附属施設等に置かれる委員会

実技教育研究指導センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
市川 真澄	実技教育研究指導センター長	---		委員長
阿部亮太郎	実技教育研究指導センター（音楽教育分野）	准教授	18.4.1～20.3.31	
洞谷亜里佐	実技教育研究指導センター（美術教育分野）	准教授	19.4.1～21.3.31	
押木 秀樹	実技教育研究指導センター（言語系教育分野）	准教授	18.4.1～20.3.31	
下西善三郎	言語系教育講座	教授	19.4.1～21.3.31	
松尾 大介	芸術系教育講座	講師	19.4.1～21.3.31	
土田 了輔	生活・健康系教育講座	准教授	19.4.1～21.3.31	
東 和憲	学務部長	---		

以上8名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
丸山 昭生	特別支援教育実践研究センター	講師	18. 4. 1～20. 3. 31	
大庭 重治	特別支援教育講座	教授	18. 4. 1～20. 3. 31	
藤生 英行	心理教育相談室	准教授	19. 4. 1～21. 3. 31	
東 和憲	学務部長	---		

以上5名



附属施設等に置かれる委員会

情報基盤センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	任期	備考
南部 昌敏	情報基盤センター長	---		委員長
大森 康正	情報基盤センター配置教員	准教授		
高野 浩志	情報基盤センター配置教員	講師		
木村 吉彦	情報セキュリティ管理者（第一部）	准教授		
笠原 芳隆	情報セキュリティ管理者（第二部）	准教授		
高本 條治	情報セキュリティ管理者（第三部）	准教授		
藤木 一浩	情報セキュリティ管理者（第四部）	准教授		
松尾 大介	情報セキュリティ管理者（第五部）	講師		
石川 真	情報セキュリティ管理者（学校教育総合研究センター）	准教授		
土谷 良巳	情報セキュリティ管理者（特別支援教育実践研究センター）	教授		
清水 雅之	情報セキュリティ管理者（附属小学校）	教諭		
松風 嘉男	情報セキュリティ管理者（附属中学校）	教諭		
江戸 大輔	情報セキュリティ管理者（附属幼稚園）	教諭		
室橋 眞	情報セキュリティ管理者（学術情報課長）	---		
村松 薫	情報セキュリティ管理者（総務課長）	---		
東 博信	情報セキュリティ管理者（教育支援課長）	---		

以上16名



附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
内田 一成	心理臨床講座	教授	18.4.1~20.3.31	
五十嵐透子	心理臨床講座	准教授	18.4.1~20.3.31	
宮下 敏恵	心理臨床講座	准教授	18.4.1~20.3.31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授	19.4.1~21.3.31	
東 和憲	学務部長	---		
角田 京子	学長指名	准教授	18.4.1~20.3.31	(第二部)
藤生 英行	学長指名	准教授	18.4.1~20.3.31	(第二部)
井沢功一朗	学長指名	講師	18.4.1~20.3.31	(第二部)

以上10名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
渡邊 隆	学長	---	委員長	三村 隆男	学校教育臨床連合講座(第二部)	准教授	
高田喜久司	副学長	---		宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座(第二部)	准教授	
戸北 凱惟	副学長	---		北條 礼子	言語系教育連合講座(第一部)	教授	
川崎 直哉	副学長	---		有澤俊太郎	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
中野 靖夫	学校教育方法連合講座(第一部)	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
南部 昌敏	学校教育方法連合講座(第一部)	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
増井 三夫	学校教育方法連合講座(第一部)	教授		下西善三郎	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
荻原 克男	学校教育方法連合講座(第二部)	教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
西 穰司	学校教育方法連合講座(第二部)	教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
若井 彌一	学校教育方法連合講座(第二部)	教授		前川 利広	言語系教育連合講座(第三部)	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座(第二部)	准教授		松本 修	言語系教育連合講座(第一部)	准教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座(第二部)	准教授		大場 浩正	言語系教育連合講座(第三部)	准教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座(第二部)	准教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座(第三部)	准教授	
大山美和子	学校教育臨床連合講座(第一部)	教授		赤羽 孝之	社会系教育連合講座(第三部)	教授	
鈴木 情一	学校教育臨床連合講座(第一部)	教授		大嶽 幸彦	社会系教育連合講座(第三部)	教授	
丸山 良平	学校教育臨床連合講座(第一部)	教授		佐藤 芳徳	社会系教育連合講座(第三部)	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		山本 友和	社会系教育連合講座(第三部)	教授	
内田 一成	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座(第三部)	准教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		志村 喬	社会系教育連合講座(第三部)	准教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座(第三部)	准教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座(第三部)	准教授	
林 泰成	学校教育臨床連合講座(第二部)	教授		西川 純	自然系教育連合講座(第一部)	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座(第二部)	准教授		藤岡 達也	自然系教育連合講座(第一部)	教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座(第二部)	准教授		小林 辰至	自然系教育連合講座(第四部)	教授	
藤生 英行	学校教育臨床連合講座(第二部)	准教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座(第四部)	教授	



氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
中川 仁	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		立屋敷かおる	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授	
中村 雅彦	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		得丸 定子	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授	
西山 保子	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		山崎 貞登	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授	
溝上 武實	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		清水 富弘	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	准教授	
室谷 利夫	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		藤木 一浩	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	准教授	
森 博	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		黎 子椰	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	准教授	
森川 鐵朗	自然系教育連合講座 (第四部)	教授		以上81名			
天野 和孝	自然系教育連合講座 (第四部)	准教授					
小川 茂	自然系教育連合講座 (第四部)	准教授					
庭野 義英	自然系教育連合講座 (第四部)	准教授					
川村 知行	芸術系教育連合講座 (第一部)	教授					
池田 操	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
太田 將勝	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
後藤 丹	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
西村 俊夫	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
茂手木潔子	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
山本 茂夫	芸術系教育連合講座 (第五部)	教授					
松本 健義	芸術系教育連合講座 (第一部)	准教授					
高石 次郎	芸術系教育連合講座 (第五部)	准教授					
平野 俊介	芸術系教育連合講座 (第五部)	准教授					
市川 真澄	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授					
伊藤 政展	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授					
大瀧ミドリ	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授					
下村 義夫	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授					
滝山 桂子	生活・健康系教育連合 講座 (第四部)	教授					

## ○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
学 長	わたなべ たかし 渡 邊 隆	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和45年11月 九州大学理学部助手 昭和57年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 昭和61年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成11年 4月 上越教育大学副学長 平成15年 4月 上越教育大学学長 平成16年 4月 国立大学法人上越教育大学学長
理 事	たかだ きくじ 高 田 喜久司	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和39年 4月 新潟県公立学校教員 昭和47年 4月 新潟大学教育学部附属新潟小学校教諭 昭和51年12月 信州大学教育学部講師 昭和54年 8月 信州大学教育学部助教授 昭和58年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 2年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成 7年 4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成11年 4月 上越教育大学学校教育研究センター長 平成15年 4月 上越教育大学副学長 平成16年 4月 国立大学法人上越教育大学理事
理 事	しんたく てつえ 新 宅 鉄 衛	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和44年 6月 山口大学 昭和47年 5月 文部省 昭和54年11月 国立特殊教育総合研究所 昭和58年 4月 文部省 平成 3年 4月 国立教育研究所 平成 6年 4月 日本体育・学校健康センター 平成 9年 4月 文部省 平成12年 4月 滋賀医科大学総務部長 平成14年 4月 東京学芸大学経理部長 平成16年 1月 独立行政法人国立少年自然の家 国立吉備少年自然の家所長 平成18年 4月 国立大学法人上越教育大学理事
理 事 (非常勤)	かとう あきら 加 藤 章	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和32年 4月 桐朋学園女子部中高等学校教諭 昭和39年 9月 お茶の水女子大学文教育学部 附属中学校教諭 昭和43年 4月 お茶の水女子大学文教育学部 附属高等学校教諭 昭和51年 7月 長崎大学教育学部助教授 昭和56年 4月 長崎大学教育学部教授 昭和58年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成 3年 4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成 5年 4月 上越教育大学学長 平成11年 4月 盛岡大学文学部教授 平成11年 6月 上越教育大学参与 (～平成12年3月) 平成12年 4月 上越教育大学運営諮問会議委員 (～平成16年3月) 平成12年 4月 盛岡大学学長 (～平成18年3月) 平成16年 4月 国立大学法人上越教育大学理事 平成16年 4月 国立大学法人福井大学経営協議会委員 (～平成19年3月) 平成17年10月 盛岡市教育委員会委員長



役 職	氏 名	任 期	経 歴
副学長	ときた よしのぶ 戸 北 凱 惟	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和44年 4月 新潟大学教育学部助手 昭和48年 8月 新潟大学教育学部講師 昭和50年 9月 新潟大学教育学部助教授 昭和58年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 元年 4月 上越教育大学学校教育学部教授 平成 5年 4月 上越教育大学学校教育学部附属小学校長 平成15年 4月 上越教育大学学校教育総合研究センター長 平成16年 4月 上越教育大学副学長
副学長	かわさき なおや 川 崎 直 哉	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和56年 4月 高知大学教育学部助手 昭和57年 4月 高知大学教育学部助教授 平成 2年 9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 9年 2月 上越教育大学学校教育学部教授 平成13年 4月 上越教育大学情報処理センター長 平成16年 4月 上越教育大学副学長
学長特別補佐 (評価担当)	たなか さとし 田 中 敏	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和59年 4月 筑波大学心理学系助手 昭和60年 4月 筑波大学心理学系講師 昭和63年 1月 上越教育大学学校教育学部講師 平成 3年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成12年 1月 上越教育大学学校教育学部教授 平成16年 4月 上越教育大学学長特別補佐
学長特別補佐 (戦略担当) (非常勤)	みずはら けんじ 水 原 健 二	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和42年 4月 東芝イーエムアイ株式会社 昭和47年 8月 株式会社エムティー企画代表取締役 昭和53年 4月 株式会社時事通信社内外教育研究会 編集委員 平成16年 4月 上越教育大学学長特別補佐 (～平成18年3月)
学長特別補佐 (国際交流 担当)	うすき みゆき 白 杵 美由紀	平成19年4月1日 ～平成21年3月31日	昭和59年 4月 新潟県公立学校教員 平成 元年 5月 西オーストラリア州立ハリウッド高校 常勤教師(～平成2年1月) 平成 2年 2月 西オーストラリア州立TAFEカレッジ 外国語学部講師 平成 5年 7月 サザン・クロス大学人文学部専任講師 (～平成5年12月) 平成 7年 4月 北陸大学国際交流センター専任講師 平成11年10月 北陸大学国際交流センター助教授 (～平成14年4月) 平成15年 2月 エディス・コワン大学国際文化地域学部 専任講師・日本語コースコーディネーター (～平成15年6月) 平成16年 4月 上越教育大学学長特別補佐

---

---

# 一般通報事項

---

---

## ○役員会

### ■第28回役員会

期 日 平成19年3月22日（木）

議 題

- 1 平成19年度年度計画
- 2 平成19年度学内予算
- 3 大学院の部局化及び新教員組織の編成に向けた対応
- 4 附属学校教員に係る人材評価
- 5 教職大学院設置初年度の入学者選抜試験における特別措置
- 6 国立大学法人上越教育大学における授業料その他の費用に関する規程の改正
- 7 国立大学法人上越教育大学旅費規程の改正
- 8 環境物品等の調達を推進を図るための方針
- 9 施設マネジメントの基本方針
- 10 各種委員会の審議事項や構成員等の見直し

### ■第29回役員会

期 日 平成19年4月18日（水）

議 題

- 1 事務系職員に係る人材評価
- 2 国立大学法人上越教育大学教員任期規程の一部改正

## ○教育研究評議会

### ■第43回教育研究評議会

期 日 平成19年3月13日（火）

議 題

- 1 平成19年度年度計画
- 2 国立大学法人上越教育大学学則の一部改正
- 3 教員人事
- 4 教員の選考手順の一部変更に伴う関係規程等の一部改正
- 5 上越教育大学名誉教授称号授与規則等の一部改正
- 6 上越教育大学学位規則の一部改正
- 7 教職大学院設置初年度の入学者選抜試験における特別措置
- 8 受託研究の受入れ
- 9 内地研究員の受入れ

- 10 上越教育大学の研究活動における行動規範及び不正行為への対応に関する規程等の制定
- 11 各種委員会の審議事項や構成員等の見直し
- 12 国際シンポジウム実行委員会の設置

#### ■第44回教育研究評議会

期 日 平成19年3月22日（木）

議 題

- 1 教員人事
- 2 教職大学院教員候補者の選考
- 3 特任教員制度の導入
- 4 助教の任期制導入
- 5 平成18年度大学教員人材評価
- 6 教育研究評議会に置かれる委員会委員の委嘱
- 7 平成19年度上越教育大学における教育研究活動等への助成金事業計画
- 8 国立大学法人上越教育大学危機管理室規程の制定

#### ■第45回教育研究評議会

期 日 平成19年4月4日（水）

議 題

- 1 副学長の選考
- 2 学長選考会議委員の選出

#### ■第46回教育研究評議会

期 日 平成19年4月11日（水）

議 題

- 1 国立大学法人上越教育大学教員任期規程の一部改正
- 2 教員人事
- 3 教育研究評議会に置かれる委員会委員の委嘱
- 4 小学校教員資格認定試験実施委員会の設置

### ○経営協議会

#### ■第14回経営協議会

期 日 平成19年3月14日（水）

議 題

- 1 平成19年度年度計画
- 2 平成19年度学内予算
- 3 平成18年度本学評価基準による自己点検・評価の結果

- 4 役員報酬及び職員給与の改定
- 5 国立大学法人上越教育大学における授業料その他の費用に関する規程の改正
- 6 教員就職率及び受験率の向上
- 7 教職大学院設置初年度の入学者選抜試験における特別措置

## ○教授会

### ■第54回教授会

期 日 平成19年3月1日（木）

議 題

- 1 教員人事
- 2 平成19年度学部入学者選抜個別学力検査等（前期日程）合格者の判定
- 3 平成19年度大学院第2次入学者選抜試験実施要領
- 4 平成18年度学部卒業判定
- 5 平成18年度大学院修了判定
- 6 学部1年次生進級判定
- 7 学部3年次生進級判定

### ■第55回教授会

期 日 平成19年3月12日（月）

議 題

- 1 平成19年度大学院第2次入学者選抜試験合格者の判定
- 2 平成19年度長期履修学生の受入れ
- 3 平成19年度教育職員免許取得プログラム受講生の受入れ
- 4 学部1年次生専修・コース分け
- 5 研究生の受入れ等
- 6 科目等履修生の受入れ等

### ■第56回教授会

期 日 平成19年3月22日（木）

議 題

- 1 教員人事
- 2 平成19年度入学者選抜個別学力検査等（後期日程）合格者の判定
- 3 平成19年度入学者選抜個別学力検査等（後期日程）追加合格者の決定
- 4 平成19年度欠員補充第2次学生募集及び合格者の判定
- 5 平成20年度大学院学生募集要項
- 6 教育課程の一部変更
- 7 学籍異動
- 8 研究生の受入れ等



## 9 大学院カリキュラムの改革

### ■第57回教授会

期 日 平成19年4月25日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 名誉教授の推薦
- 3 学籍異動
- 4 研究生の受入れ等

### ○学位記

・博士（保健学）

（平19.1.24 女子栄養大学）

准教授 佐光 恵子

### ○退職者永年勤続表彰状授与式

平成19年3月31日付け本学退職者の永年勤続表彰状授与式が3月19日（月）に行われた。

被表彰者には表彰状が授与され、併せて記念品が贈呈された。

永年勤続被表彰者は次のとおりである。

大悟法 滋 教授

齋藤 九一 教授

山ノ下堅一 教授

宮越 節子 主査

笹川 和博 主査

### ○平成18年度個人情報保護に関する講演会

個人情報保護管理者・保護担当者を対象に個人情報保護に関する講演会を次のとおり実施した。

期 日 平成19年3月14日（水）15：30～17：00

場 所 大会議室（事務局3階）

講 師 新潟県警生活安全部生活安全企画課

ハイテク犯罪対策室

大 嶋 警 部

参 加 者 教職員 57名



## ○ファカルティ・ディベロップメント研修会

本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、ファカルティ・ディベロップメント研修会を3月12日(月)に実施した。

大学評価委員会ファカルティ・ディベロップメント専門部会による平成18年度の活動等の報告の後、『シラバスの現状と課題』をテーマに授業実践例の紹介・パネルディスカッションが行われた。



## ○教育職員免許取得プログラム受講者の支援

教育職員免許取得プログラム受講者への支援体制として、本学講義棟1階のキャンパスライフスクエア内の教育支援課及び就職支援室に教育職員免許取得プログラム支援室を設置し、プログラム受講者の修学上の相談、教員就職、学生生活における支援を適切かつ円滑に行う体制を取っています。

同支援室には、教員就職の支援を充実させるために小・中学校長を経験された専門の相談員を配置し、修学指導又は就職指導を主に担当する支援職員等と連携を取りながら、プログラム受講者に対する修学、教員就職及び学生生活等に関する相談・指導を行っています。

プログラム受講者が、高度な専門知識と実践力を備えた小学校教員等として学校の現場で第一線として活躍するために、積極的かつ有効的に支援できるようにしています。

### ■利用時間

土、日、祝日を除く平日：9時～17時

### ■相談事項及び対応窓口

#### ①修学に関すること

教育支援課教務支援チーム

電話 025-521-3275, 3276

E-mail kyosien@juen.ac.jp

#### ②教員就職に関すること

就職支援室就職支援チーム

電話 025-521-3597, 3598

E-mail recruit@juen.ac.jp

○公開講座・免許法認定公開講座

平成19年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
ものづくり人材育成講座～NC工作機械入門～	初めての方を対象にNC工作機械（マシニングセンタ）の加工を学習します。 マシニングセンタの仕組み・構造、NCプログラムミングを説明した後に、本学の5軸制御マシニングセンタを利用して、各自で部品設計から、NCプログラムの作成、部品加工までを行います。	黎 子椰 准教授	4月4日（水） ） 5月2日（水）  毎週水曜日 5回 機械加工の時間はご希望に応じて個別に設定します。	18：30 ） 20：30 及び機械加工 4時間  計14時間	本学 （山屋敷町）	市民一般 現職教員 高校生 10人
少年少女スポーツ教室I（山屋敷サッカークラブ）	中学に入学したばかりで、サッカーの試合を楽しむ機会の少ない中学1年生のためのサッカー教室です。サッカーだけでなく勉強の質問や相談も受け付けます。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。	榊原 潔 准教授	4月8日（日） 4月14日（土） 4月21日（土） 4月30日 （月・祝） 5月6日（日）	13：00 ） 15：00  計10時間	本学 （山屋敷町）	中学生 25人
ピアノ入門（ピアノと親しもう）	ピアノの初級でも演奏できる名曲にチャレンジしてみよう。	平野 俊介 准教授	4月19日（木） ） 6月7日（木） 5月3日を除く毎週木曜日 7回	18：00 ） 20：00  計14時間	本学 （山屋敷町）	初級 市民一般 6人
アメリカ文学入門（2）—短編小説を楽しむ	アメリカ合衆国の短編小説を一回につき一編ずつ読みます。さまざまな作家による読みやすく短いストーリーを教材とし、行間を読み取って物語の世界に入ることを目的とします。翻訳があるものとなないものがあり、高校生上級レベル以上の英語力が必要です。	前川 利広 教授	4月25日（水） 5月9日（水） 5月23日（水） 6月6日（水） 6月20日（水） 7月4日（水） 隔週水曜日	18：30 ） 20：00  計9時間	本学 （山屋敷町）	初級から 中級 現職教員 市民一般 10人  最小実施 人数3人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
はじめての短歌－実作短歌入門	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と尻込みする人も少なくないと思います。でも、そんなことはありません。講座では、作家の勉強も兼ねて、古今の名歌等の鑑賞も予定していますが、自己表現を学ぶことを通じて、鑑賞にもきっと新しい視界が開けてくることでしょう。	松田 慎也 准教授	5月8日(火) ) 7月10日(火) 毎週火曜日	19:00 ) 20:30  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人
「職場体験」実践講座	職場体験を実施する中学校の先生方及び受け入れ事業所の方を対象に職場体験を効果的に実施する方法をキャリア教育の視点から学ぶことを目的とします。 職場体験の基本的な理解、キャリア教育における位置付け、事前学習の方法、実施プログラム作り、先進事例、事後学習の方法などを交え、講義、演習を行います。	三村 隆男 准教授	5月9日(水) 5月16日(水) 5月23日(水)	18:00 ) 20:00  計6時間	本学 (山屋敷町)	現職教員及び職場体験で中学生を受け入れる事業所の方 40人  最小実施人数2人
和太鼓をたたこう(入門)	誰でもバチを持ってたたけば音がでる楽器、それが太鼓です。思うような音を出し、そしてリズムが自由自在に打てるようになるには、太鼓を打つための基礎を身につけることが大切です。 誰でもたたける太鼓で自分を表現してみませんか。	大山美和子 教授	5月19日(土) ) 6月30日(土)  毎週火曜日 7回	9:00 ) 11:00  計14時間	岩木多目的 研修センター (上越市)	一般市民 10人
スクールリーダーのための学校改善講座	自主的・自律的な学校が求められており、これからの教員には総合的なマネジメント能力が必要とされています。 本講座では、基礎的基本的な教員研修を発展させ、①教育改革の動向と学校教育の課題、②教育課程経営、③学校評価、④学校の危機管理と法的諸問題に関して、講義・演習します	西 穰司 教授 若井 彌一 教授	5月19日(土) 5月26日(土)	10:00 ) 12:00 13:00 ) 16:00  計10時間	本学 (山屋敷町)	中級 現職教員 20人



講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
特別支援教育における個別の指導計画の作成法と活用 法Ⅰ ※	<p>小・中学校や特別支援学校における特別支援教育推進の在り方について概説するとともに、特別な教育的ニーズに対応する自立活動の理念や個別の指導計画作成の意義・方法について論じます。</p> <p>※ その上で、特別な支援を必要としている子どものビデオを用いて個別の指導計画を実際に試作していただき、授業への生かし方と具体的な評価の方法について考究します。個別の教育支援計画策定についてもふれる予定です。(特別支援学校1種及び2種免取得のための単位とすることもできます。希望者は申込みの際にお申し出ください。)注1</p>	藤井 和子 講師	6月2日(土) 6月16日(土) 6月23日(土)	10:00 ) 12:00 13:00 ) 16:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	(基礎グループ) 現職教員 10人
特別支援教育における個別の指導計画の作成法と活用 法Ⅱ ※	<p>小・中学校や特別支援学校における特別支援教育推進の在り方について概説するとともに、特別な教育的ニーズに対応する自立活動の理念や個別の指導計画作成の意義・方法について論じます。</p> <p>※ その上で、受講者ご自身に学級等で担当されている児童生徒を対象とした個別の指導計画を実際に作成していただき、その授業への生かし方と具体的な評価の方法について考究します。個別の教育支援計画策定についてもふれる予定です。(特別支援学校1種及び2種免取得のための単位とすることもできます。希望者は申込みの際にお申し出ください。)注2</p>	笠原 芳隆 准教授	6月2日(土) 6月16日(土) 6月12日(土)	10:00 ) 12:00 13:00 ) 16:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	(実験グループ) 現職教員  10人
笑いコミュニケーション ー常識と非常識ー	<p>コミュニケーションをすることが難しい今日ですが、笑いによって会話がはずむことがよくあります。笑いや常識を切り口として現代社会の諸問題について考えます。</p>	高石 次郎 准教授  江口 歩 (新潟お笑い 集団NAMARA 代表)	6月9日(土) 6月16日(土)	14:00 ) 16:00 計4時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 50人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
子ども・子ども観の昔と今 — 世代を越えた人間発達の支援のために —	少子高齢化社会が進む中、世代を越えた子育て支援の重要性が言われています。他方、子どもたちの環境が変化したことにより、無気力、引きこもり、いじめの問題など、生活意欲や人間関係づくりの面でさまざまな問題が指摘されています。本講座では、子ども・子ども観の昔の様子を、歴史的・思想史的な観点から掘り起こし、今日の状況と比較することにより、今の子どもたちに欠けているものは何か、どのような人間発達の支援が求められるのかを明らかにしていきます。そして、生涯学習や地域ぐるみの教育の視点から、具体的な支援の手だてについて考えていきます。	大前 敦巳 准教授 下司 晶 講師	7月21日(土) 7月22日(日)	10:00 ) 12:00 13:00 ) 16:00  計10時間	本学 (山屋敷町)	入門 市民一般 現職教員 高校生 20人  お子さん、 お孫さんと 同伴の参加 も歓迎しま す (無料)
宗教って何？ — 世界の諸文化の文化的特徴を探る	今日の世界においても民族間の紛争は絶えることがありません。その直接的原因は政治・経済問題でしょうが、背景にそれぞれの民族が持つ宗教文化が大きく影響していることも否定できません。宗教こそが世界の諸文化の違いの根源にあります。さあ、世界を知るために、日本を知るために、宗教を学びましょう。	松田 慎也 准教授	7月23日(月) ) 8月3日(金)  毎週月～金曜日 10回	19:00 ) 20:30 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人
おもしろ柔道 教室	柔道の基本練習 1. 柔道のための基本運動：体力づくり 2. 受身の練習 3. 体捌きの練習：前回捌・後回捌 4. 立技の練習：手技・腰技・足技 5. 寝技の練習：袈裟固・肩固・縦四方固など 6. 柔道の礼法：立礼・座礼	鈴木 敏紀 教授	7月24日(火) ) 8月21日(火)  8月14日を除く毎週火・金曜日 8回	9:00 ) 11:00 計16時間	本学 (山屋敷町)	入門 小学生(1年生から6年生) 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
応用行動分析で特別支援教育が変わる ※	近年、特別支援教育を中心として、応用行動分析に基づく教育実践の成果が大きな注目を集めています。本講座では、行動分析学の基本的な枠組みや用語の理解、アセスメント（行動観察など）の手法や基礎的な指導技法の習得、データに基づく授業改善や学校コンサルテーションへの活用を目指します。（特別支援学校1種及び2種免取得のための単位とすることもできます。希望者は申込みの際にお申し出ください。） 注3	加藤 哲文 教授 村中 智彦 講師	7月30日(月) 7月31日(火) 8月1日(水)	10:00 ) 12:00 13:00 ) 16:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	入門 現職教員 20人  最小実施 人数5人
「小学校英語」進め方入門	小学校英語を楽しく・ためになる・体験活動にするために、受講する人の英語力スキルアップを図りながら理論編と実践編を組み合わせた内容です。具体的に、小学校英語（英語活動）のねらいや意義、カリキュラムデザイン、授業の枠組みの作り方、ゲームの活動、歌の活動、教材・教具、授業展開事例、評価の考え方と方法、教室英語などの内容を提供いたします。	石濱 博之 准教授	9月14日(金) 9月28日(金) 10月12日(金) 10月26日(金) 11月9日(金) 11月16日(金)	18:30 ) 20:00 計9時間	本学 (山屋敷町)	現職教員 市民一般  15人
日本近代文学の名作を読む～短編小説を楽しむ④～	日本の短編小説を毎回1作品ずつ取り上げ、物語を読む楽しみや方法について、皆さんと一緒に考えていきます。講読作品：①漱石『夢十夜』『第四夜』②小川洋子『中国野菜の育て方』③太宰『きりぎりす』④鷗外『半日』⑤宮沢賢治『よだかの星』⑥中島敦『山月記』⑦川上弘美『離さない』⑧鏡花『女客』⑨芥川『戯作三昧』⑩三島『熊野』	小埜 裕二 教授	9月26日(水) ) 2月6日(水)  隔週水曜日 10回	19:00 ) 20:30 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 15人  最小実施 人数5人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
越の文化を探る X I	古代の越後は謎だらけである。国府・国分寺・一の宮など未解決な問題が多い。越後の古代遺跡と仏教美術を理解するため、平成4年以来、翌年から「越の文化を探る」を連続して10回開講して来た。古代の越後の中心が上越にあったことを各地をたずね、文化の共通性を比較検討してきた。今回は受講生から要望の高かった佐渡を再訪して、文化の来た道をたどりたい。	川村 知行 教授 小島 幸雄 (上越市教育委員会)	10月24日(水) 10月31日(水) 11月14日(水) 11月3日, 4日 実地見学 毎週水曜日	18:00 } 20:00 計16時間	学校教育総合研究センター (西城町)	市民一般 20人  最小実施 人数10人
少年少女スポーツ教室II (山屋敷フットサルクラブ)	中学生のためのフットサル教室です。 受講者はチームに分かれて練習と試合を行います。 勉強の質問や相談も受け付けます。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。	榑原 潔 准教授	11月17日(水) } 12月23日(水)  6回	18:00 } 19:30  計9時間	本学 (山屋敷町)	市民一般 (中学生) 25人
理科野外観察 指導実習A ※	実習の場を林と池とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察し、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月9日(木) 8月10日(金)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習B ※	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	9月12日(水) 9月13日(木)	9:00 } 17:00  計15時間	志賀高原	初級・中級 市民一般  現職教員 10人



講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習C ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月18日(土) 8月19日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	正善寺川	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)についてそのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導する。走査電子顕微鏡、蛍光顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行う。	小川 茂 准教授	8月27日(月) 8月28日(火)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められている。本実習では地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討する。	天野 和孝 准教授	8月6日(月) 8月7日(火)	9:00 } 17:00  計15時間	上越市平山 ~中ノ俣 上越市谷浜  ~大淵	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習G ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察をおこなう。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を習得させる。また火山災害についての安全対策を現地で実際に学ぶ。	大場 孝信 准教授	8月29日(水) 8月30日(木)	9:00 } 17:00  計15時間	妙高・糸魚川	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習H ※	1泊2日の日程で気象観測実習を行う。小・中学校のカリキュラムに出てくる、太陽の日周運動、気温と湿度の日変化、雲形・雲量、海風循環等の現象を対象とした独自の観測結果をインターネット上に公開される気象情報と比較しながら、現象の理解や説明の方法等を習得させる。	中川 清隆 (立正大学教授)	6月2日(土) 6月3日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習 I ※	1泊2日の日程で暖候季の星夜観測実習を実施する。小学校4年理科および中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動および星夜観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら体得させる。	宮本 昌典 (国立天文台 名誉教授)	9月1日(土) 9月2日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	星のふるさと館(清里区)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人
理科野外観察 指導実習 J ※	身近な自然に見られる野草等の植物の生活史を、植物相互の関わり、昆虫との関わり、光・温度・水・土等の物理・化学的環境要因との関わり等の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得する。さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学ぶ。	小林 辰至 教授	5月28日(土) 5月29日(日)	9:00 } 17:00  計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般  現職教員 10人

理科野外観察指導実習 E は、今年度休講いたします。

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	助教授	田島 弘司	台湾	科学研究費研究に関する資料収集	平成19年3月9日～ 平成19年3月14日	外国出張
2	教授	平野 絹枝	イギリス	英語教育学に関する調査と資料収集(連合プロジェクト, 小学校英語を含む)	平成19年3月13日～ 平成19年3月30日	海外研修
3	助教授	細江 容子	中国	社会変動とこどもの持つ高齢者イメージ国際比較調査に関する研究打合せ	平成19年3月19日～ 平成19年3月23日	外国出張
4	学務部長	東 和憲	オーストラリア	海外大学訪問及び現地視察調査	平成19年3月20日～ 平成19年3月25日	外国出張
5	教務企画 チーム主 査	瀧本 一幸	オーストラリア	海外大学訪問及び現地視察調査	平成19年3月20日～ 平成19年3月25日	外国出張
6	学長特別 補佐	白杵 美由紀	オーストラリア	海外大学訪問, 現地視察調査及び研究協力依頼, 情報収集	平成19年3月20日～ 平成19年3月31日	外国出張
7	助教授	庭野 義英	アメリカ	アメリカの環境思想史研究の打合せ及び文献収集	平成19年3月23日～ 平成19年4月2日	海外研修
8	助教授	黎 子椰	中国	中国におけるエネルギー環境教育実態調査	平成19年3月23日～ 平成19年4月3日	海外研修
9	教授	後藤 丹	オーストリア・ フランス	オペラ, 音楽劇関係の資料収集	平成19年3月24日～ 平成19年3月31日	海外研修
10	講師	下司 晶	アメリカ	ニューヨークでの学校視察及び現地カウンセラーとの面談	平成19年3月24日～ 平成19年3月31日	海外研修
11	助教授	大場 浩正	韓国	小学校英語教育に関する視察と情報交換	平成19年3月25日～ 平成19年3月28日	外国出張
12	教授	若井 彌一	中国	教育法令に関する研究打合せ	平成19年3月28日～ 平成19年3月31日	外国出張
13	教授	川村 知行	中国	中国上海博物館, 湖北省博物館の資料調査と収集	平成19年3月30日～ 平成19年4月7日	海外研修
14	准教授	石川 真	アメリカ	American Educational Research Association 2007 Annual Meetingでの研究発表	平成19年4月8日～ 平成19年4月13日	海外研修

# 関係資料

○平成19年度学校教育学部入学者選抜試験状況

( )内は女子で内数

区分	推薦による選抜 (募集人員 50人)				個別学力検査等による選抜 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別選抜 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	(1) 1	(1) 1			1	1							(1) 2	(1) 2		
青森県	(1) 1	(1) 1											(1) 1	(1) 1		
岩手県	(3) 3	(3) 3	(1) 1	(1) 1	(1) 1								(4) 4	(3) 3	(1) 1	(1) 1
宮城県	(1) 2	(1) 2			(2) 2	(2) 2							(3) 4	(3) 4		
秋田県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 6	(1) 5	2	1					(3) 7	(2) 6	(1) 3	(1) 2
山形県	(3) 3	(3) 3	(1) 1	(1) 1	(6) 8	(5) 7	(1) 2	(1) 2					(9) 11	(8) 10	(2) 3	(2) 3
福島県	(5) 8	(5) 8	(3) 6	(3) 6	(12) 22	(12) 19	(2) 2	(2) 2					(17) 30	(17) 27	(5) 8	(5) 8
茨城県	(1) 1	(1) 1			(3) 5	(3) 5	1	1					(4) 6	(4) 6	1	1
栃木県	(3) 5	(3) 5	(1) 1	(1) 1	(17) 28	(15) 26	(1) 4	(1) 4					(20) 33	(18) 31	(2) 5	(2) 5
群馬県	(4) 6	(4) 6	(1) 1	(1) 1	(14) 28	(14) 28	(4) 7	(4) 7					(18) 34	(18) 34	(5) 8	(5) 8
埼玉県	(1) 2	(1) 2			(1) 5	(1) 5	2	2					(2) 7	(2) 7	2	2
千葉県	(1) 1				(3) 8	(3) 8	(1) 2	(1) 1					(4) 9	(3) 8	(1) 2	(1) 1
東京都	(1) 3	(1) 3			(2) 8	(2) 8	2	2					(3) 11	(3) 11	2	2
神奈川県	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(2) 4	(1) 3							(4) 6	(3) 5	(1) 1	(1) 1
新潟県	(46) 60	(45) 59	(17) 21	(17) 21	(123) 206	(106) 185	(25) 39	(20) 33					(169) 266	(151) 244	(42) 60	(37) 54
富山県	(17) 19	(16) 18	(2) 2	(2) 2	(25) 34	(24) 33	(3) 4	(3) 4					(42) 53	(40) 51	(5) 6	(5) 6
石川県	(10) 14	(10) 14	(1) 2	(1) 2	(37) 59	(38) 58	(9) 18	(9) 18					(47) 73	(46) 72	(10) 20	(10) 20
福井県	(3) 4	(3) 4	(1) 2	(1) 2	(3) 10	(2) 8	(1) 1	(1) 1					(6) 14	(5) 12	(2) 3	(2) 3
山梨県	1	1			(4) 6	(4) 6							(4) 7	(4) 7		
長野県	(13) 24	(13) 23	(4) 6	(4) 6	(68) 114	(63) 108	(13) 26	(10) 18					(81) 138	(76) 131	(17) 32	(14) 24
岐阜県	(1) 1	(1) 1			(2) 6	(2) 6	2	2					(3) 7	(3) 7	2	2
静岡県	(1) 1	(1) 1			(7) 10	(7) 10	(2) 2	(2) 2					(8) 11	(8) 11	(2) 2	(2) 2
愛知県	(3) 6	(3) 6	(1) 2	(1) 2	(15) 51	(14) 49	(5) 13	(3) 9					(18) 57	(17) 55	(6) 15	(4) 11
三重県	(1) 1	(1) 1			(2) 3	(2) 3	1						(3) 4	(3) 4	1	
滋賀県					4	4	3	3					4	4	3	3
京都府					(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1					(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1
大阪府					1	1	1						1	1	1	
兵庫県	(1) 2	(1) 2			(3) 4	(3) 4	(2) 3	(2) 3					(4) 6	(4) 6	(2) 3	(2) 3
奈良県					1	1							1	1		
和歌山県																
鳥取県																
島根県	1	1			1	1	1	1					2	2	1	1
岡山県					1	1							1	1		
広島県					2	2							2	2		
山口県																
徳島県	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2							(4) 4	(4) 4	(2) 2	(2) 2
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県					(3) 5	(3) 5	(2) 3	1					(3) 5	(3) 5	(2) 3	1
熊本県																
大分県																
宮崎県					(1) 1	(1) 1	(1) 1						(1) 1	(1) 1	(1) 1	
鹿児島県																
沖縄県	1	1	1	1	3	2							4	3	1	1
その他																
計	(126) 176	(123) 172	(37) 50	(37) 50	(362) 652	(330) 609	(73) 143	(60) 118					(488) 828	(453) 781	(110) 193	(97) 168
		応募者/合格者 3.5倍	男 26.0% 女 74.0%			応募者/合格者 4.6倍	男 49.2% 女 50.8%							応募者/合格者 4.3倍	男 42.3% 女 57.7%	



○平成19年度 大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

■専攻・コース別

専攻・コース	前期募集 (試験日:18.8.26)					中期募集 (試験日:18.11.25)					後期募集 (試験日:19.1.13)					第2次募集 (試験日:19.3.7)					合 計				
	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学 定員	応募者	受験者	合格者	入学者
学校教育専攻	70	(46) 155	(46) 152	(46) 116	(46) 94	18	(7) 36	(7) 34	(7) 27	(7) 22	32	(2) 21	(2) 21	(2) 11	(2) 10	6	2	1	1	1	120	(55) 214	(55) 208	(55) 155	(55) 127
学習臨床コース	30	(18) 55	(18) 54	(18) 49	(18) 40	10	(5) 19	(5) 18	(5) 16	(5) 13	20	(1) 10	(1) 10	(1) 5	(1) 5	若干人	1				60	(24) 85	(24) 82	(24) 70	(24) 58
発達臨床コース	22	(17) 41	(17) 40	(17) 37	(17) 33	8	(2) 11	(2) 10	(2) 8	(2) 6	12	(1) 6	(1) 6	(1) 5	(1) 4	6	1	1	1	1	42	(20) 59	(20) 57	(20) 51	(20) 44
臨床心理学コース	18	(11) 59	(11) 58	(11) 30	(11) 21	若干人	6	6	3	3	若干人	5	5	1	1	募集せず					18	(11) 70	(11) 69	(11) 34	(11) 25
幼児教育専攻	6	2	2	2	2	5					8	1	1	1	1	8	2	1	1	1	10	5	4	4	4
特別支援教育専攻	20	(4) 24	(4) 23	(4) 23	(4) 19	5	(1) 6	(1) 5	(1) 5	(1) 2	5	5	5	5	5	10					30	(5) 35	(5) 33	(5) 33	(5) 26
教科・領域教育専攻	104	(32) 102	(32) 101	(32) 98	(31) 81	36	(2) 31	(2) 27	(2) 25	(1) 18	25	(1) 26	(1) 25	(1) 24	19	21	3	3	3	3	140	(35) 162	(35) 156	(35) 150	(32) 121
言語系 コース	20	(4) 13	(4) 12	(4) 10	(3) 9	5	1	1	1		若干人	5	4	3	3	若干人					25	(4) 19	(4) 17	(4) 14	(3) 12
国語		(3) 11	(3) 11	(3) 10	(3) 8		(1) 8	(1) 7	(1) 6	(1) 4		2	2	2	2							(4) 21	(4) 20	(4) 18	(4) 14
英語		(4) 21	(4) 21	(4) 21	(4) 15	5	3	2	2	2	2	3	3	3	2	5					25	(4) 27	(4) 26	(4) 26	(4) 19
社会系 コース	18	(7) 14	(7) 14	(7) 14	(7) 13	5					8	(1) 3	(1) 3	(1) 3	2	6					30	(8) 17	(8) 17	(8) 17	(7) 15
自然系 コース	22	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 4	15	4	4	4	3	13	3	3	3	2	10					30	(2) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 9
芸術系 コース	22	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 5	6	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2					30	(2) 11	(2) 11	(2) 11	(2) 9
生活・ 健康系 コース	22	(4) 7	(4) 7	(4) 7	(4) 6	6	6	6	6	4	2	2	2	2	2	若干人	2	2	2	2	30	(4) 15	(4) 15	(4) 15	(4) 12
保健体育		(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 5						2	1	1	1	1							(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 8
技術		(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 6		1	1	1	1												(1) 7	(1) 7	(1) 7	(1) 7
家庭		(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(1) 4	(1) 3	(1) 3	(1) 2	1		1	1	1	1		1	1	1	1		(5) 10	(5) 9	(5) 8	(4) 7
学校ヘルスマネジメント																									
合 計	200	(82) 283	(82) 278	(82) 239	(81) 196	64	(10) 73	(10) 66	(10) 57	(9) 42	70	(3) 53	(3) 52	(3) 41	(2) 35	45	7	5	5	5	300	(95) 416	(95) 401	(95) 342	(92) 278

※1 ( )内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

2 応募者数は、専攻・コース(分野)ごとに原則として第1志望の人数を計上しているが、第2志望での合格者は合格した専攻・コース(分野)への応募者として計上している。



■都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				第2次募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	2	2	2	1													2	2	2	1
青森県	2	2	2	2													2	2	2	2
岩手県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	1												(1) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 2
宮城県	(1) 10	(1) 10	(1) 6	(1) 5	3	2	2	2	1	1							(1) 14	(1) 13	(1) 8	(1) 7
秋田県	(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 4					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(3) 5	(3) 5	(3) 5	(3) 5
山形県	2	2	2	2	1	1											3	3	2	2
福島県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1									(2) 5	(2) 5	(2) 5	(2) 4
茨城県	(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 4	1	1	1	1	1	1	1	1					(1) 7	(1) 7	(1) 7	(1) 6
栃木県	(2) 4	(2) 4	(2) 3	(2) 3					1	1	1	1					(2) 5	(2) 5	(2) 4	(2) 4
群馬県	(5) 9	(5) 9	(5) 9	(5) 7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(5) 12	(5) 12	(5) 12	(5) 10
埼玉県	(6) 24	(6) 24	(6) 22	(6) 19	1	1	1		1	1	1	1					(6) 26	(6) 26	(6) 24	(6) 20
千葉県	(1) 13	(1) 13	(1) 9	(1) 6	8	8	7	5									(1) 21	(1) 21	(1) 16	(1) 11
東京都	(1) 34	(1) 31	(1) 24	(1) 17	7	6	5	4	9	8	8	7					(1) 50	(1) 45	(1) 37	(1) 28
神奈川県	(3) 12	(3) 12	(3) 12	(3) 9	4	4	3	2	(1) 3	(1) 3	(1) 2	1	1	1	1	1	(4) 20	(4) 20	(4) 18	(3) 13
新潟県	(41) 76	(41) 75	(41) 67	(40) 58	(7) 22	(7) 22	(7) 19	(6) 16	(1) 10	(1) 10	(1) 8	(1) 6	1	1	1	1	(49) 109	(49) 108	(49) 95	(47) 81
富山県	(2) 7	(2) 7	(2) 5	(2) 4	1	1	1	1	3	3	2	2					(2) 11	(2) 11	(2) 8	(2) 7
石川県	(3) 15	(3) 15	(3) 11	(3) 7	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(3) 19	(3) 18	(3) 14	(3) 10
福井県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1													(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
山梨県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2	1	1	1	1									(1) 4	(1) 4	(1) 4	(1) 3
長野県	(3) 14	(3) 13	(3) 13	(3) 11	4	3	2	1	4	4	3	2	2				(3) 24	(3) 20	(3) 18	(3) 14
岐阜県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3					2	2	2	1					(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 4
静岡県	(2) 4	(2) 4	(2) 3	(2) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1									(3) 6	(3) 6	(3) 5	(3) 3
愛知県	(2) 9	(2) 9	(2) 8	(2) 6	(1) 3	(1) 2	(1) 1	(1) 1	1	1	1	1					(3) 13	(3) 12	(3) 10	(3) 8
三重県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1	1	1	1	1									(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2
滋賀県	1	1	1	1	1	1	1										2	2	2	1
京都府					1	1	1		1	1	1	1					2	2	2	1
大阪府	3	3	2	1	2	2	2		2	2	2	2					7	7	6	3
兵庫県																				
奈良県	1	1	1	1													1	1	1	1
和歌山県																				
鳥取県																				
島根県																				
岡山県	1	1	1	1													1	1	1	1
広島県																				
山口県	1	1	1	1													1	1	1	1
徳島県																				
香川県	1	1	1	1													1	1	1	1
愛媛県																				
高知県					1												1			
福岡県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1													(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
佐賀県																				
長崎県																				
熊本県	1	1	1	1													1	1	1	1
大分県																				
宮崎県																				
鹿児島県																				
沖縄県																				
外国	13	13	9	9	3	3	3	3	11	11	6	6	1	1	1	1	28	28	19	19
計	(82) 283	(82) 278	(82) 239	(81) 196	(10) 73	(10) 66	(10) 57	(9) 42	(3) 53	(3) 52	(3) 41	(2) 35	7	5	5	5	(95) 416	(95) 401	(95) 342	(92) 278

注) 1 ( )内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

## 主要日誌

### ■大学

月 日	事 項
平成19年3月1日	木 第54回教授会 知的財産本部会議 第14回入学試験委員会
平成19年3月2日	金 第10回学術研究委員会 第5回安全・衛生環境委員会 留学生指導教員スキルアップ講習会
平成19年3月6日	火 平成19年度学部入学者選抜個別学力検査等(前期日程)合格者発表 第9回衛生委員会 赤倉地区防災訓練
平成19年3月7日	水 平成19年度大学院修士課程第2次入学者選抜試験
平成19年3月8日	木 平成18年度課外活動リーダーズ・トレーニング研修(3/8~9) 第10回教員養成カリキュラム委員会
平成19年3月9日	金 第15回入学試験委員会 第16回教務委員会
平成19年3月10日	土 教育実践セミナー(学術研究委員会主催)
平成19年3月12日	月 第4回就職委員会 第55回教授会 ファカルティ・ディベロップメント研修会
平成19年3月13日	火 第43回教育研究評議会 第7回学生委員会 第1回上越教育大学第一種奨学資金返還免除候補者選考委員会 平成19年度大学院修士課程第2次入学者選抜試験合格者発表
平成19年3月14日	水 第14回経営協議会
平成19年3月15日	木 平成18年度上越教育大学個人情報保護に関する講演会 平成18年度第2回学校教育総合研究センター運営委員会 全学教職員集会 第6回教育実習委員会 2006年度上越教育大学国際交流のつどい
平成19年3月16日	金 第17回教務委員会
平成19年3月20日	火 平成18年度学位記授与式, 卒業証書・学位記授与式, 学生表彰式, 修了・卒業祝賀会 2006年度国費外国人留学生(研究生)修了証書授与式
平成19年3月22日	木 第28回役員会 第56回教授会 第44回教育研究評議会 第3回心理教育相談室運営委員会 第16回入学試験委員会
平成19年3月23日	金 第14回情報・広報委員会 平成19年度学部入学者選抜個別学力検査等(後期日程)合格者発表
平成19年3月24日	土 はつらつ元気塾
平成19年4月4日	水 第45回教育研究評議会
平成19年4月5日	木 第5回評価支援室会議 第1回教育実習委員会
平成19年4月6日	金 第1回教務委員会
平成19年4月9日	月 平成19年度入学式, 新入生オリエンテーション
平成19年4月10日	火 平成19年度新入生オリエンテーション
平成19年4月11日	水 第46回教育研究評議会 第35回大学評価委員会 情報セキュリティー講習会 留学生オリエンテーション
平成19年4月12日	木 第1回附属図書館運営委員会
平成19年4月13日	金 第1回入学試験委員会
平成19年4月16日	月 第1回教員養成カリキュラム委員会 第2回教育実習委員会
平成19年4月17日	火 第1回教育実習連絡会
平成19年4月18日	水 第29回役員会 第1回実技教育研究指導センター運営委員会 第1回フレンドシップ事業企画運営協議会

月 日	事 項
平成19年4月19日	木 第1回教育実習協力校会議(中学校・特別支援学校・幼稚園)
平成19年4月20日	金 平成19年度第1回学校教育総合研究センター運営委員会 第2回教務委員会
平成19年4月23日	月 第1回研究倫理審査委員会 第8回特色GPプロジェクト実施委員会
平成19年4月24日	火 心理教育相談室開所式 第1回教育実習協力校会議(小学校)
平成19年4月25日	水 第57回教授会 第10回連合大学院委員会
平成19年4月26日	木 第36回大学評価委員会 第1回衛生委員会
平成19年4月27日	金 平成19年度新入生合宿研修(4/27~28) 第2回教員養成カリキュラム委員会

■附属小学校

月日	事	項
平成19年3月7日	水	学校評議員会
平成19年3月16日	金	第3学期終業式
平成19年3月19日	月	第26回卒業式
平成19年3月21日	水	欠員入学選考
平成19年3月26日	月	離任式
平成19年4月1日	日	開校記念日
平成19年4月8日	日	新任式、第1学期始業式、第27回入学式

■附属中学校

月日	事	項
平成19年3月1日	木	学校評議員会
平成19年3月3日	土	第26回卒業証書授与式
平成19年3月6日	火	2学年修学旅行（～9日（金））
平成19年3月23日	金	第3学期終業式
平成19年3月26日	月	離任式
平成19年4月1日	日	開校記念日
平成19年4月7日	土	新任式 第1学期始業式 第27回入学式

■附属幼稚園

月日	事	項
平成19年3月2日	金	ひな祭り会
平成19年3月9日	金	平成19年度入園児選考検査(欠員募集)
平成19年3月16日	金	第13回修了証書授与式
平成19年3月19日	月	第3学期終業式
平成19年3月26日	月	離任式
平成19年4月1日	日	開園記念日
平成19年4月5日	木	一日入園
平成19年4月6日	金	新任式 第1学期始業式
平成19年4月7日	土	第16回入園式



# 上越教育大学学報

第100号 平成19年5月10日発行

上越教育大学総務部総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

電話 025-521-3214 / 3215